

まちづくりを進める上で重要な事

そこに住む住民の『思い入れ・個々の働きかけ』の具現化

現在、閉上が掲げる課題

主たる課題	課題の内容	何をどうすれば良いのか
住民の自主自立	やってもらえる受け身の姿勢が抜けず、自らやる姿が欠乏している	支援される側、支援する側、双方で自主自立に向けた意識改革が必要
生活インフラの早期整備	病院・スーパー・金融機関・交通手段 目先で未だ決まっておらず、当面不便	行政と住民が協同で、企業誘致活動を展開する
地域コミュニティの再生	新しい閉上に住民が戻っては来たが隣は知らない人ばかり・・・	町内会・自治組織の早期立上げ コミュニティ活動拠点の確保・整備
住民のまちづくり参画	閉上のまちづくりは他人まかせだが口は出したい・・・（知合いには話す）	新しいヒューマンネットワークの構築 要は『しゃべって聞ける場所』が必要
定住人口の取り込み	震災前：5600人規模のまち 震災後：2100人のまち(▲3500人)	次世代が魅力を感じる新しい閉上の造り込みと 対外PRの促進
まちづくり協議会の将来	各自治組織との役割分担が不明確 被災を免れた閉上地区との共存共栄	閉上連合町内会を発足させ、今後のまちづくりの取りまとめ役に転換を図る

課題をまとめると・・・

ハードからソフトへのシフト	函モノの検討から、まちの運用ルール・人への手あて等、検討テーマの大転換	住民自身が 住みやすさ・生き甲斐・利便性 を検討し具現化して行く
---------------	-------------------------------------	----------------------------------